

様式 4

令和元年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子工業高等学校  
校長 龍田 浩史

評 価 日	令和 2 年 2 月 1 2 日 (水)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>① 工業高校生らしいエチケット・マナーについて 米工生は、良く挨拶をしてくれる。エチケット・マナーの指導として、スマートフォンの指導もしてもらいたい。</p> <p>② ものづくり人材育成について 授業態度がとても良かった。人の話を聞く態度等、マナーを守ることは、社会で即戦力として活躍するためにも必要である。実習中の安全教育も含めて、即戦力の育成をお願いしたい。</p> <p>③ 中学校などの異校種との連携 啓成小学校は、毎年、3年生と4年生が交流授業でお世話になっている。小学校では、次年度からプログラミング教育が始まるので、連携をお願いしたい。</p> <p>(2) 説明・公表について 米工の発信力を高めるため、PTAも「米工 News Letter」を作成し、啓成地区で回覧して米工を紹介した。そのため、米工の理解が高まったとの反応があった。</p>	<p>情報モラル教室の実施、全校集会や授業を通して情報モラル指導を徹底する。</p> <p>本校は、大型の設備を使用した実習があり、安全教育を徹底している。今後も、外部人材を活用して、社会の即戦力となるよう人材の育成をする。</p> <p>小学校の意向を踏まえ、生徒を講師としたプログラミング教室の実施について検討する。</p> <p>PTAと連携し、学校ホームページや米工祭を通して、本校の情報発信を積極的に行う。</p>	
<p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>実習設備品が古く、能力が低いものが多数ある。米子工業高校は、地元に残る生徒が多く、地域産業の活性化のためにも独自予算活用とともに備品を更新する必要がある。</p>	<p>ものづくりコンテストの練習のためにも、備品の更新は必要であるので、計画的に更新を行う。</p>	
<p>3. 取組改善のための提言</p> <p>時間外業務削減は必要であるが、部活動時間の削減は、果たして可能であろうか。生徒は、誰でも良いものではなく、決まった者に指導してもらいたいのではないか。野球部など、対外試合を組む場合は、1日の練習となるので、予算と教職員の数を増やす必要がある。</p>	<p>次年度は、さらに時間外業務時間の削減が必要である。運動部活動指導員の配置等で、教職員1人あたりの部活動時間の削減を図りたい。</p>	